

第57回伊賀地区 駅伝競走大会出場

配送課 山岡 高志

1月29日（日）ゆめドームうえのを発着点に、ゆめが丘地区、友生地区、四十九町周辺で第57回伊賀地区駅伝競走大会が開催されました。

我々アポロ興産駅伝チームは昨年に続く2回目の出場で、私個人としては人生初の駅伝出場です。去年は1チームで出場しましたが、今年はAチーム、Bチームの2チームでの出場となりました。

今年も監督はAチーム、Bチーム共に稲葉本部長（外販課）です。

Aチームのメンバーは、1区：山岡（配送課）2区：吉澤（外販課）3区：林（サガミSS）4区：東山所長（サガミSS）5区：森田（ガス課）6区：大森課長（リビングサービス課）

Bチームは、1区：野畑（配送課）2区：森田主任（ガス課）3区：森本（ガス課）4区：安藤副所長（サガミSS）5区：平（サガミSS）6区：野田（配送課）サブ：北田主任、岡本（共にリビングサービス課）交通整理員：上田課長（ガス課）前田課長（総務課）

以上のメンバーで参加することになりました。

12月から練習を開始しましたが、各々が仕事を終えてからの練習でしたので、全員が揃う事も少なく、当日参加できるメンバーでの練習が続きました。

最初の頃は1周約2kmの練習コースを走りきるのが精一杯で、走り終わると皆が倒れこんでいましたが、練習の回数が増えるにつれタイムも良くなり翌日の筋肉痛もなくなり本番が楽しみになってきました。

本番が近くなり、大森課長からは襷（たすき）を、会社からはお揃いのユニフォームを作っていただき、楽しみ半分、緊張半分でソワソワしてきました。

チームの目標は、前回の順位を上回る事で、当日まで皆、精一杯の練習をしたつもりです。

当日はとても天気がよく、気温も上がるとの予報でしたので絶好の駅伝日和です。

開会式を終え、スタートの準備とウォーミングアップを始めます。しばらくすると、スタート前の点呼が始まり、急いで向かいます。

Aチームは大森課長の引きの強さでゼッケン番号5番でしたので、一番先頭からのスタートです。Bチームは26番ですので少し後方です。

スタート直前は周りの皆がとても速そうに見えてガチガチに緊張していました。



そしてスタートの号砲が鳴り一斉にスタート。がむしゃらに走り何とか14位で2区に襷を繋ぐ事ができました。

2区以降の走りは全く見る事ができませんので、ゴール地点でアンカーの帰りを今か今かと待ちます。

結果は52チーム中Aチーム27位、Bチーム46位でした。「駅伝は心のリレー」といいますが、必死で走りつなげてくれた仲間と、今か今かと待ってくれている仲間の気持ち、監督や応援してくださったたくさんの方の気持ちがいっぱい詰まった襷のおかげで全力で走りきることができました。

最後になりましたが選手を代表しまして、沿道から応援してくださった皆様へ、応援がとても励みになりました。ありがとうございました。

また来年も必ず出場しますので応援よろしく願いいたします。



石上神宮を訪ねて

総務課 前田 光弘

伊賀の地は京都府や奈良県に隣接している事から古の遺跡や建立物に興味の有る方にとっては非常に便利な土地であると言え、特に他所から引っ越してきた者にとってはこういう所でも大変恵まれた土地であると感じる事が出来ます。

今回は近場である奈良県天理市にある石上神宮（いそのかみじんぐう）を参拝した際の体験を記事にさせていただきます。

石上神宮は天理市の布留町にある日本最古の神宮の一つです。

初詣の際にはシャトルバスも出ていますし、特に今年は酉年という事で「鶏が放し飼いされている神宮」としても有名なですので、テレビでご覧になった方もいるのではないのでしょうか。

また、こ由緒を拝見すると物部氏の総氏神であり健康長寿・病氣平癒・除災招福・百事成就の守護神として信仰されているそうです。最近ではパワースポットとしても話題に上がる事が多くなっているそうです。

まず鳥居をくぐり境内に入った瞬間から空気が変わります。清廉な空気とでも言うのでしょうか、まるで境内全体を澄んだ空気が包んでいる様な印象を受けました。私の大好きな雰囲気です。



そして鳥居の先、御神木を過ぎたころ、普通に現れる御神鶏（鶏さま）達。

この境内では御神鶏として東天紅や烏骨鶏といった色とりどりの鶏が約30羽ほど境内のいたる所で放し飼いにされています。

私の目の前を鶏さま達が横断されていきます。

慣れているのか携帯電話のカメラを向けても全く逃げません。

それどころかぐんぐん近寄ってきちゃう鶏さま達。

携帯電話のファインダー（画面）越しに段々と近寄ってくる迫力はなかなかの物で自然に腰が後ろに引けてしまいます。そして、なぜか感じる敗北感。

鶏さま達に心癒された後は参拝へ向かいました。

先に摂末社とその前の拝殿に参拝しておこうと考えて階段を登った先にあったのは、こじんまりとしつつも趣のある拝殿でした。

拝殿前の立て看板を読み進めると、一番最後に「国宝」の二文字が目に入ります。え？ これも国宝ですか？

あまりにも無防備に建つ国宝に一瞬唖然としてしまいましたが、この拝殿は正式には摂社出雲健雄神社拝殿といい内山永久寺（現在廃寺）より移築したものだそうです。国宝の二文字を読んで看板から1メートルほど下がってしまった私は小心者です。

まさかの国宝との突然の遭遇に驚きつつ摂社への参拝を済ませた後は本殿へ向かいます。こちらの拝殿も勿論国宝です。次々と国宝が目前に現れる事にテンションが少しおかしくなりましたが、帰宅する頃にはなぜか妙に納得した気持ちでした。

市の文化財、国の重要文化財といった物はそれなりに見かけますが、あまりに簡単に国宝を見ることが出来る事に驚きつつも、それが決して飾り立てるでもなく自然な形で顕れている姿に最後はある種のやすらぎを感じた参拝でした。

石上神宮 公式ホームページ:<http://www.isonokami.jp/>

